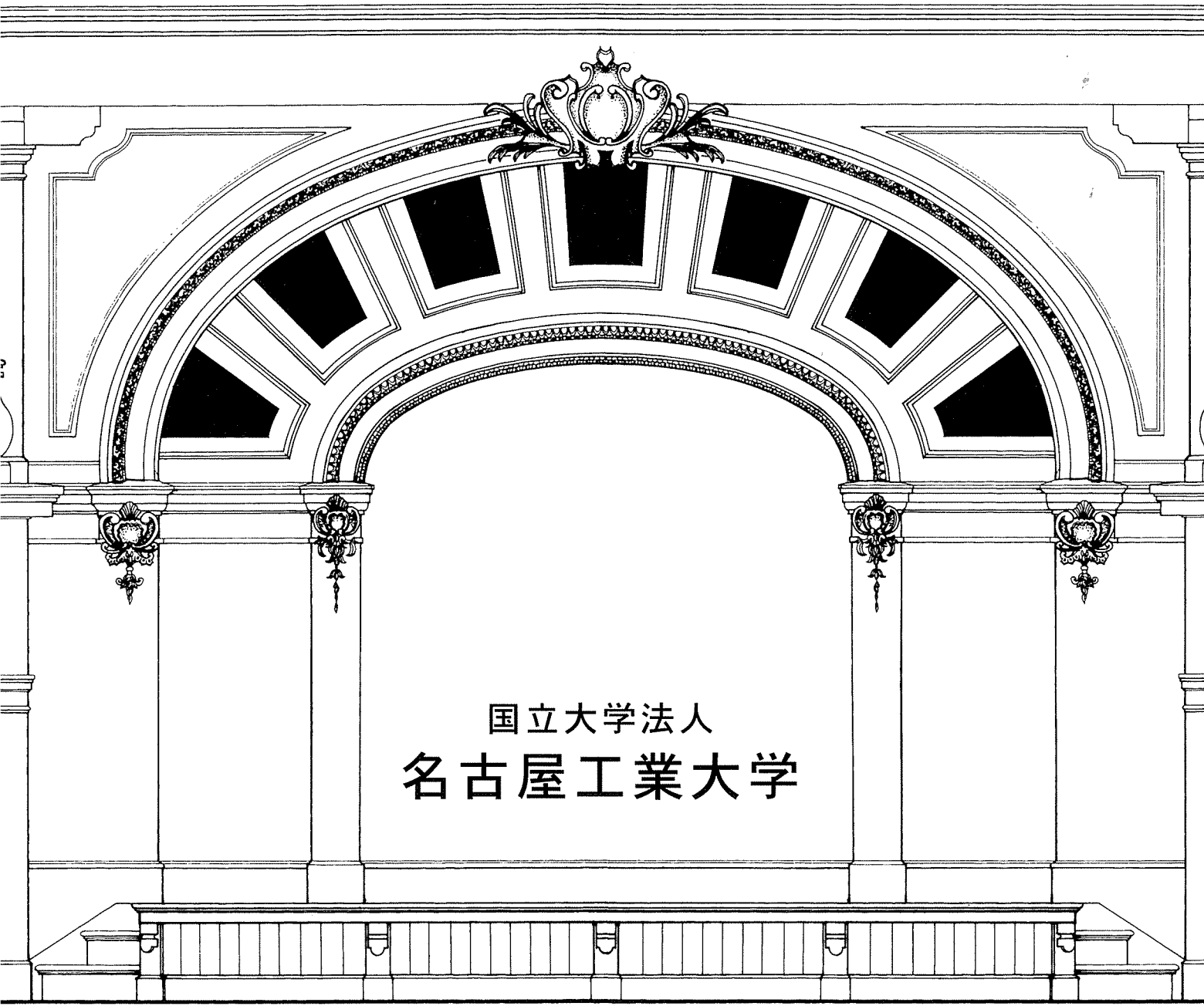


平成 30 年度
大学院工学研究科
(博士前期課程)
社会工学専攻
短期在学コース

学生募集要項



国立大学法人
名古屋工業大学

目 次

平成30年度 大学院工学研究科（博士前期課程） 「社会工学専攻」短期在学コース学生募集要項

教育理念

アドミッション・ポリシー	1
カリキュラム・ポリシー	1
ディプロマ・ポリシー	2
1 募集専攻及び募集人員	3
2 出 願 資 格	3
3 出 願 期 間	4
4 出 願 手 続	4
5 受 験 票 の 交 付	5
6 障害等のある入学志願者との事前相談	5
7 入学者選抜方法	6
8 試 験 場	6
9 合格者発表及び入学手続	6
10 入学手続時に必要な経費	6
11 入 試 情 報	7
12 専攻の研究分野	7
13 課程の修了の認定及び学位の授与	7
14 奨 学 金	7
15 安全保障輸出管理について	8
16 問い合わせ先	8
◎ 教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座のお知らせ	9
出願資格(9)による出願について	9
検定料の払込方法	10
本学への交通案内	裏表紙

教育理念

名古屋工業大学では、『ものづくり』『ひとづくり』『未来づくり』を理念として、将来にわたって人類の幸福や国際社会の福祉を達成する方向を示し、同時にそれに対応できる人材を育成する。」ことを教育理念としています。

本学の卒業生は一人ひとりが国際社会の中で様々な人々・分野と協働し、持続的未來社会への責任を自覚し、実践の中で革新的な学術と技術を創造する能力を有する実践的工学エリートとして活躍することが期待されます。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

大学院博士前期課程

教育理念に従って人材を育成するため次を満たす学生を広く国内外から受け入れています。

大学院博士前期課程で学ぶ学生は学士の能力と工学の基礎知識・使命感をもち、本学の理念をよく理解し、工学の使命を果たす意欲をもつ人です。

- 1 学士課程を卒業するか、あるいはこれと同等の能力をもつ人
- 2 志望する専門分野等の工学の基礎知識とこれを活用して問題解決をする能力をもつ人
- 3 他者と意見を交わすことのできるコミュニケーション力をもち、英語においては講義や教科書の理解、他者との意見交換をすることのできる能力をもつ人
- 4 未来の工学を先導することに強い意欲をもつ人

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

大学院博士前期課程

教育理念に従って人材を育成するため、以下の観点から、教育課程を編成しています。

大学院博士前期課程は、学士の能力と工学の基礎知識・使命感の上に、高度な専門知識を身につけると同時に研究に取り組み、未来社会をつくりだす人材を育成します。

- 1 人間、文化、社会の課題を技術的観点から理解・考察する能力を身につける。
そのため、共通科目において人間、文化、社会の諸問題や工学を俯瞰的に学ぶ科目、また技術を産業や社会に結びつける科目を学習させる。

- 2 専門的課題・技術に関し，国内外の研究者・技術者と意見を交わすことのできるコミュニケーション力を身につける。

そのため，専門分野のセミナー，国内外での研究インターンシップ，企業実務者による講義，外国人研究者を含む英語による授業によって広い視野と高いコミュニケーション力を身につけさせる。

- 3 基幹となる専門分野の高度な知識・技術と，専門的課題を発見し，専門性の深化によってこれを解決する能力を身につける。

そのため，高度な専門知識・技術を身につける授業と，修士研究において専門分野の新規で有用な研究に取り組みさせる。

ディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）

大学院博士前期課程

大学院博士前期課程は，教育理念に従って次の高度な専門知識及び能力を有する，新たな技術創出のための技術者を輩出します。

名古屋工業大学大学院規則で定める修了要件を満たした学生に修士の学位を授与します。

- 1 人間，文化，社会の課題を技術的観点から理解・考察する能力
- 2 専門的課題・技術に関し，国内外の研究者・技術者と意見を交わすことのできるコミュニケーション力
- 3 基幹となる専門分野の高度な知識・技術と，専門的課題を発見し，専門性の深化によってこれを解決する能力

平成30年度 大学院工学研究科（博士前期課程）「社会工学専攻」 短期在学コース学生募集要項

本学大学院工学研究科社会工学専攻短期在学コースは社会人を対象に工学系経営教育を専門的に
行い、ものづくり産業の発展に貢献するリーダーを育成することを目的としています。このことか
ら本専攻では、次のとおり社会人を対象に学生募集を行います。

1 募集専攻及び募集人員

募 集 専 攻	募集人員
社会工学専攻	若干名

注1：社会人を対象とする短期在学コースのみの募集です。

2：短期在学コースとは、修業年限が1年以上2年未満のコースをいいます。

2 出 願 資 格

次の(1)～(9)のいずれかに該当する者で、かつ下記の「短期在学コースの出願要件」を満たす者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したもの

注：出願資格(9)により出願する者は、9ページ「出願資格(9)による出願について」を参照してください。

短期在学コースの出願要件

短期在学コースに入学を希望する者にあつては、昼夜間受講が可能な社会人で次のいずれかに該当するもの

- 大学卒業後、3年以上（入学時に見込まれる者を含む）の技術分野や産業経営分野の実務経験を有する者。
- 大学卒業後、2年以上（入学時に見込まれる者を含む）の技術分野や産業経営分野の実務経験を有し、特に官公庁、地域連携に積極的な企業・団体から推薦された者。
- その他本学大学院において、上記の者と同等以上の資格があると認められた者。

3 出 願 期 間

平成30年1月16日(火)～1月19日(金)

出願書類等の受付時間は、9:00から16:00までとします。郵送出願の場合は、書留速達郵便で1月19日(金)16:00必着とします。

4 出 願 手 続

(1) 出願書類等の提出

入学志願者は、次の書類等を取りそろえ、所定の期日までに名古屋工業大学入試課に提出してください。

なお、出願にあつては指導を希望する教員、研究内容や出願について事前に入試課に相談してください。

郵送出願する場合は、書留速達郵便とし、封筒の表面には、「大学院（博士前期課程）入学願書在中」と朱書きしてください。

(2) 出願書類等

出 願 書 類		注 意 事 項
①	入学願書・写真票・受験票 (本学所定の用紙)	写真票には、正面、上半身、無帽のもので、出願前3か月以内に撮影した縦4cm、横3cmの写真を全面のり付けしてください。
②	志望理由書 (本学所定の用紙)	各項目について記述してください。
③	卒業証明書（コピー不可）	出身大学が作成した卒業証明書を提出してください。 (日本語・英語以外で書かれたものは、日本語又は英語の訳文を添付してください。)
④	推薦書（様式随意）	志願者が事業主である場合は、本人が経営者であることがわかるもので代用することも可能。
⑤	検定料	30,000円 検定料は、10ページの「検定料の払込方法」を参照の上、ゆうちょ銀行・郵便局の窓口又はコンビニエンスストアで払い込んでください。

⑥	受験票送付用封筒 (郵送出願する者のみ)	市販の封筒(長形3号, 23.5 cm×12 cm)に, 郵便番号, 受信場所, 氏名を記入し, 速達郵便切手(362円)を貼付してください。
⑦	連絡用シール (本学所定の用紙)	入学願書に記載した「受信場所」と同一の住所を記入してください。
⑧	その他	ア 外国人は, 在留資格及び在留期間が記載された住民票の写しを提出してください。 イ 出願資格(2)「学位を授与された者」により出願する者は, 独立行政法人大学評価・学位授与機構が発行する学士の学位授与証明書を提出してください。

(3) 注意事項

- ① 記入にあたっては, 各票とも黒のインク又はボールペン(消せる筆記具は不可)を使用し, かい書で明瞭に記入してください。記入ミスをした場合は, ミスをした箇所に二重線を引き, 余白に正しく記入してください(訂正印は不要です)。
- ② 出願書類等の不備なものは, 受理しません。
- ③ 提出後, 出願書類等の返還及び記入事項の変更は認めません。
- ④ 既納の検定料は返還しません。
- ⑤ 出願書類等に虚偽の事項を記入したことが判明した場合は, 入学後でも入学を取り消すことがあります。
- ⑥ 本学入学者選抜に用いた個人情報については, 「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」に基づいて, 次のとおり取り扱います。
 - ア 今後の入学者選抜に係る調査・研究のために利用します。
 - イ 入学者選抜及び上記アの利用に当たっては, 守秘義務等を締結した業者(以下「業者」という。)の一部を委託する場合があります。
この場合, この業者に対して委託した業務の範囲内で, 個人情報を提供します。
 - ウ 入学者については, 入学者選抜に用いた個人情報を学籍などの教務関係, 修学指導関係及び学生支援関係に関する業務を行うため利用します。

5 受験票の交付

出願書類等を持参した者には, その場で交付します。また, 郵送出願したものには, 郵送します。

6 障害等のある入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で, 学校教育法施行令第22条の3に定める障害のあるもの又はその他の障害があるもののうち, 受験上及び修学上の配慮を必要とするものは, 出願の前に, 下記により相談してください。

(1) 相談の時期及び方法

平成29年12月21日(木)までに相談する内容を文書又は電話等で連絡してください。必要な場合は, 本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

(2) 連絡先

8ページの「16 問い合わせ先」をお願いします。

7 入学者選抜方法

入学者の選抜は、専門・外国語の口述試験及び研究意欲、適性、人物等についての個人面接と推薦書を総合して判定します。なお、合格者の選考は、志望専攻分野、試験成績等を考慮して判定を行います。この場合、第1希望教員ではなく、第2希望の教員になる場合があります。

口述試験及び面接日時

平成30年1月30日(火) 13:00～

8 試験場

名古屋工業大学

9 合格者発表及び入学手続

(1) 平成30年2月6日(火)15:00に、本学ホームページ (<http://www.nitech.ac.jp/>) 上に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者に合格通知書を送付します。

なお、電話による問い合わせには一切応じません。

また、受験票は入学手続時に必要なためそれまで必ず保管してください。

(2) 合格者(又は代理人)は、次の日時に入学手続を行ってください。入学手続日時までに入学手続を行わない場合は、入学を辞退したものととして取り扱います。

なお、「入学手続要領」(合格通知書に同封)に基づき、郵送による入学手続を認めます。入学手続に必要な書類等は「入学手続要領」に同封します。

入学手続日時	入学手続会場
平成30年3月23日(金) 9:00～16:00	名古屋工業大学

10 入学手続時に必要な経費

入 学 料	282,000 円 (予定額)
授 業 料	年額 535,800 円 (予定額) $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期分} 267,900 \text{ 円} \\ \text{後期分} 267,900 \text{ 円} \end{array} \right.$

注1: 入学料及び授業料については、入学時及び在学中に改定が行われた場合には、新入学料及び新授業料が適用されます。

2: 授業料は、希望により前期分を納入の際に後期分も併せて納入できる制度があります。

3: 授業料(前期分)を入学手続時に納入しない場合は、平成30年4月2日(月)から4月27日(金)までに納入してください。

4：既納の入学料及び授業料は、返還しません。ただし、授業料については、入学手続完了者が平成30年3月31日(出)までに入学を辞退した場合には、納入した者の申出により当該授業料相当額は、後日返還します。

5：入学料及び授業料については、徴収猶予又は免除の制度があります。

11 入 試 情 報

平成30年度大学院博士前期課程に係る入試情報は、次の内容を開示します。

1. 出願状況等

志願者数、受験者数、合格者数、入学者数等をホームページ及び入試課窓口で提供します。

2. 試験成績

(1) 受験者本人の申請に基づき、次の事項を開示します。

総合評定 (A, B, C)

(2) 申請方法等

① 申請期間

平成30年2月13日(火)～2月23日(金)

② 申請方法

入試課窓口又は郵便で、「試験成績請求願」(本学指定の用紙)に、受験票及び成績送付用封筒(市販の長形3号封筒に、郵便番号、住所及び氏名を明記し、242円分の切手を貼付したものを添えて申請してください。

なお、郵便で申請する場合は、事前に入試課まで連絡してください。

(3) 開示方法及び時期

3月上旬に申請者本人へ郵送します。

12 専攻の研究分野

入学願書中の希望分野名及び教員名の記入に当たっては、別冊「大学院工学研究科(博士前期課程)担当教員一覧」を参照してください。

13 課程の修了の認定及び学位の授与

開講される授業科目から30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文又はリサーチ・ペーパーの審査及び最終試験に合格した者に、修士(工学、学術)の学位を授与します。

注：リサーチ・ペーパーとは、実学に従事した際に見いだされた問題点を考察した報告書や市場化・製品化に関する技術開発報告書などのことです。

14 奨 学 金

日本学生支援機構奨学金の貸与を希望する者には、選考の上、奨学金が貸与されます。

15 安全保障輸出管理について

名古屋工業大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「名古屋工業大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

〔参考〕「名古屋工業大学安全保障輸出管理規程」

<http://kisoku.web.nitech.ac.jp/houki/204042.htm>

16 問い合わせ先

この学生募集要項に関する照会は、Eメール又は電話等で行ってください。

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

名古屋工業大学 入試課

電話 052(735)5083

FAX 052(735)5084

Eメール nit.nyushi@adm.nitech.ac.jp

◎ 教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座のお知らせ

本学工学研究科博士前期課程社会工学専攻短期在学コースは、専門実践教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座です。

この制度は、雇用保険の一般被保険者又は一般被保険者であった社会人が、厚生労働大臣の指定した教育訓練を修了した場合に、その受講のために支払った費用の一部に相当する額を教育訓練給付金として公共職業安定所から支給するものであり、労働者の主体的な職業能力開発の取組みを支援し、もって、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的としています。

本学工学研究科博士前期課程社会工学専攻短期在学コースでは、雇用保険に関して一定の要件を満たしている社会人（詳しくは厚生労働省のホームページあるいは最寄りの公共職業安定所で確認してください。）が本講座を受講する場合、申請に基づき一定の条件の下に、入学金及び授業料の4割、また、修士（工学、学術）の学位を取得・修了し、就職に結びついた場合には2割が追加的に支給されます（給付額は年額48万円上限）。

出願資格(9)による出願について

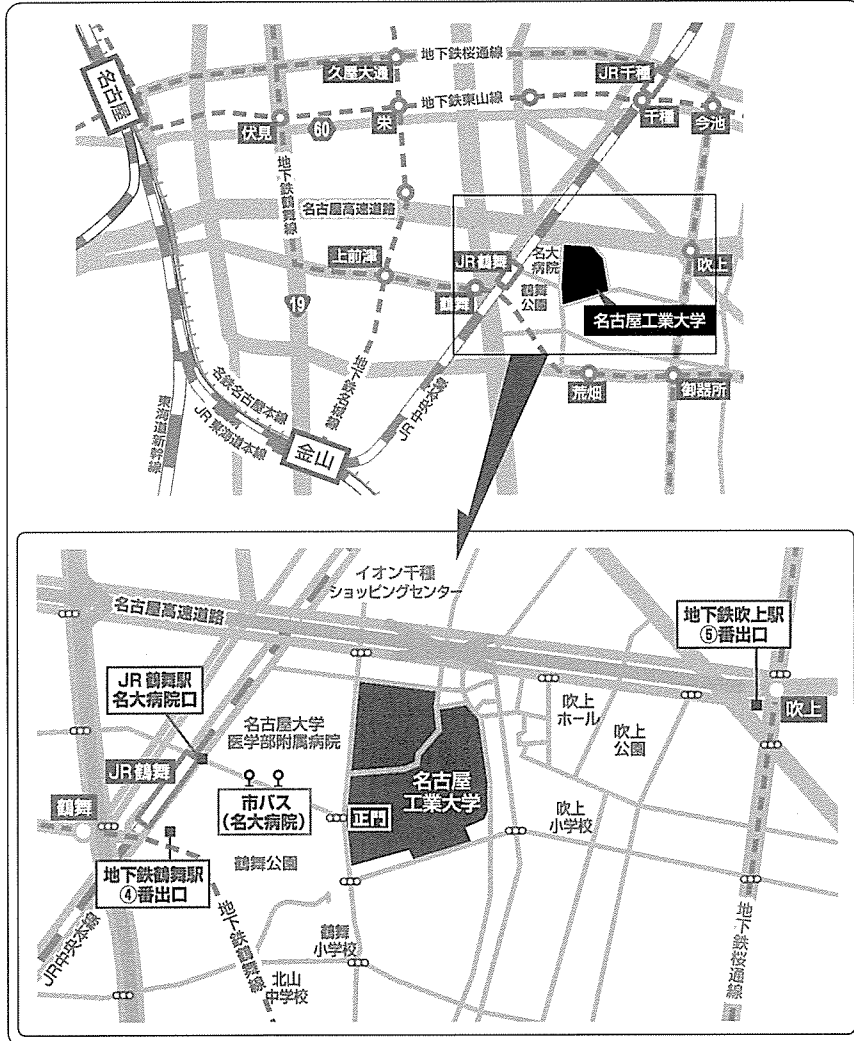
- 1 出願資格(9)により出願する者は、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生及びその他教育施設の修了者等です。
- 2 名古屋工業大学大学院工学研究科において個人の学習歴や実務経験・国際的活動経験等の具体的内容について入学資格審査を行います。
- 3 審査を受ける者は、4ページの「4(2)出願書類等」に示す①、②、③、④、⑦、⑧に加え、次に示す書類を、平成29年11月17日(金)16:00までに入試課へ提出してください。
 - (1) 出身学校の学校概要・カリキュラム等教育課程が明らかになる資料
 - (2) 入学資格審査申請書（本学所定の用紙）注）上記(2)書類の各事項に関する証明書等を添付してください。（例：大学等の在学期間がある場合、成績証明書を添付）
- 4 審査の結果は、平成30年1月5日(金)までに本人に連絡します。
- 5 出願資格を認められた者は、出願書類を受理しますので、検定料を10ページ「検定料の払込方法」のとおり払い込み、4ページ「4(2)出願書類等」のうち、未提出の書類を取り揃え、出願期限までに入試課へ提出してください。
- 6 審査等書類の提出期限に遅れた場合は、審査等書類は受理しません。

本学への交通案内

J R 東海	中央本線	鶴舞駅下車(名大病院口から東へ約400m)
地下鉄	鶴舞線(上小田井 ←→ 赤池)	鶴舞駅下車(4番出口から東へ約500m)
	桜通線(中村区役所 ←→ 徳重)	吹上駅下車(5番出口から西へ約900m)
市バス	⑬18 (栄 ←→ 妙見町)	名大病院下車(東へ約200m)

注1：⑬18は、市バスの系統番号

2：バスの運行時間は、交通渋滞により大幅に遅れる可能性があるので注意してください。



名古屋工業大学入試課

名古屋市昭和区御器所町 (〒466-8555)
 電話 052(735)5083
 ホームページアドレス <http://www.nitech.ac.jp/>

表紙：本学創設の明治38年(1905年)当時に建設された
 講堂内部正面図面